

サステナビリティの考え方

フォーメーションは創業以来、「廃棄物で困る人をゼロに」をミッションに事業活動を行っています。

「1人でも多くの人を幸せにする」という考え方が活動の根底になります。

世界的な気候変動に加えCOVID-19により、全世界が変革を迫られる現在。

企業規模を問わず、環境 / 社会 / ガバナンスは持続的な発展に必須要件となりました。

CSV（共通価値の創造）明確化も加え、フォーメーションは社会と協調しながら事業活動を通じ、

持続可能な地球と社会の発展に貢献して参ります。



Environment

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



01. LPGトラック導入

同型クラスのディーゼル車に比べ、LPGトラック導入により、
産業廃棄物回収時の走行1km当りのCo2排出量を6~19%削減。

人間の呼吸器に悪影響を及ぼすPM粒子を発生させない事もLPG車の優位性となります。

02. 埋立ゼロ提案

クライアントから発生する産業廃棄物はマテリアルorケミカルリサイクルをベースに、
最終方法としてサーマルリカバリー提案を実施。

他社処分提案と比較し全量リサイクル達成のケースも増加。

2023年中にはリサイクル不可品以外の埋立ゼロを目標にしています。



Environment

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



03. 100%グリーン電力化

2022年中に事業活動における全電力をグリーン電力へ切り替えます。

本取組みにより、 $800\text{kWh} \times 12\text{ヶ月} \times 0.496\text{kg-CO}_2/\text{kwh} = 4,761\text{kg-CO}_2/\text{年}$ のCo2削減を達成。

杉の木 約340本が一年間に吸収する量に相当（杉の木一本当りの年間吸収量 14kg-CO2/年 環境省資料より）

04. クリーンエネルギー自動車導入

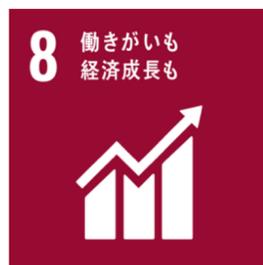
事業活動で必須である営業車を2022年中に全車EV化を目標としています。

ゼロエミッションを達成するだけでなく、

災害による停電等の際には非常用電源として活用する事で、レジリエンス向上に繋がります。



Social



健康経営チャレンジ企業

フォーメーションでは、従業員の健康サポートに取り組んでいます。

健康は安全にも直結すると考え、「7つの健康習慣の改善*」を実施。

従業員がいきいきと元気に活躍できる職場環境づくりに努め、健康経営の推進に取り組んでいます。

* ①適正体重(BMI)②朝食③飲酒④運動⑤禁煙⑥睡眠⑦ストレス



Governance

10 人や国の不平等
をなくそう



01. コーポレートガバナンス

フォーメーションは、持続的な成長と企業価値の向上を経営の重要課題としています。その実現のために、株主やお客様をはじめ、取引先、地域社会、従業員などステークスホルダーと良好な関係を築くとともに、お客様に信頼していただけるサービスを提供し続ける事が重要と考え、コーポレートガバナンスの充実に取り組んでいます。

02. リスクマネジメント

グレートリセットと言われるいま、フォーメーションは常に新たな挑戦をしています。行動に伴い増える不確実性への対応としてCRO（Chief Risk Officer）を配し、事業活動において発生するリスクを予防・軽減するために取り組んでいます。



Governance

10 人や国の不平等
をなくそう



03. コンプライアンス

フォーメーションは、法令遵守およびフェアな企業活動を通じ、信頼される企業を目指しています。社会的責任を果たすため、フォーメーションで働く人々の基本的な心構えとし、「フォーメーション行動指針」を全従業員に配布しています。

04. 情報セキュリティの取り組み

サイバー攻撃は複雑化し、会社の機密情報や顧客情報などサイバー攻撃のターゲットになり、フォーメーションにおける情報セキュリティの重要性は高まっています。このようなサイバー攻撃に対し、個人情報などを守ることを社会的責任と捉えています。オンラインサーバーの活用など、様々な活動に取り組んでいます。

